

2021年のポストカードの作品が決定!

加藤洋平さん(南風原町在住)「筆文字アートを通じて、笑顔の連鎖を広げたい」



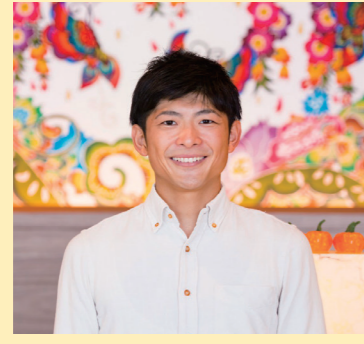
固定観念にとらわれず自由な発想で文字を描き、心に響く言葉を届ける

手描き特有の優しいタッチが言葉の意味を何倍にも膨らませ、見た人の心に灯をともす筆文字アート。令和3年のフレッシュウィンズポストカードを飾るのは、心笑家(こえみや)・加藤洋平さんの作品です。

加藤さんは陸上競技の走り高跳びの選手として社会人の実業団まで進んだバリバリの体育会系であり、現在是不登校児の自立支援に取り組む教育者としての横顔もあります。筆文字を始めたのは大阪で体育教師としていた2011年。校内外でいろいろな人と出会った際に「せつかくのご縁を今後も継続できないか」との思いからお札状や筆文字を制作するようになり、やがてそれを受け取った人を通じてさまざまな依頼が舞い込むようになり、本職の教育現場でも生徒向けに「筆文字セミナー」を開いたり、路上に座って目の前に人が即興で言葉を届けたりしたこともありました。

加藤さんの作風は、独学で経験を重ねた加藤流。選言・言葉・書体・絵柄は毎回異なり、依頼者のニーズに加藤さんなりのインスピレーションを加えて完全オリジナルの作品に仕上げます。利用シーンは幅広く、贈り物、名刺、結婚式のウエルカムボードなど。赤ちゃんの健康やかな成長を願う命名書も人気があります。

筆文字講座の講師を務める際はいつも「自由な描き方」を提唱し、文字に対する固定観念を取り



心笑家-cocoemiya-
かとう ようへい
加藤 洋平

1987年生まれ、沖縄県八重瀬町出身
2011年9月：筆文字と出会う
2012年6月：「あなたの目を見ているパフォーマンスを始める。」というパフォーマンスを始める。
2013年11月：筆文字アート講座初開催
2015年：清水寺書画展、ミラノ万博出展
現在は、教育に携わりながら筆文字アーティストとして沖縄を中心に全国で活動中。

り払うことで発想が柔軟になり、自分自身を見つめ直す契機になる」と話します。これは「心笑家」のネーミングにも通じるものがあり、「誰になってもいいです。心から笑える瞬間や場所がある。筆文字がそのきっかけとなり、幸せの連鎖が広がっていくのではないかと。お届けするポストカードは、もちろん毎月の書き下ろしです。本紙を受け取る皆さんのことを思い浮かべながら、その時々で感じたことを筆文字アートで表してくれたいです。毎日の暮らしに旬の言葉を添えて、笑いの絶えない1年にしたいですね。」

Fresh Winds

人と人のつながりを大切に…。池原建設が大切なお客様にお送りする手作り広報誌



読者プレゼント

『映画ペアチケット』
3名様



12月号当選者 前号の答え(ライオン)

[A賞] 仲宗根さおりさん(沖縄市在住) 金城秋子さん(読谷村在住)

[B賞] 比嘉あけみさん(読谷村在住) 島尻久美子さん(沖縄市在住)

※他、13名の当選者は電話連絡にて発表します

ワイワイ広場

読者プレゼント応募方法

宛先 読谷村字伊良智237-1 ウィンズ『広報誌係』

①住所 ②氏名 ③年齢 ④職業 ⑤電話番号

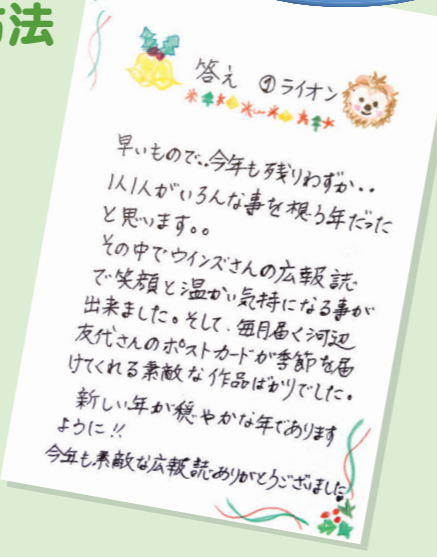
⑥なぞなぞの答え

⑦ご意見 ⑧感想

応募者の中から抽選で、読者プレゼントを進呈致します。どしどしご応募下さい!

締め切り 2021年1月20日消印有効
「当選者は次号(Vol.197)にて発表致します」

『Freshウィンズ』は、建築でお手伝いをさせて頂いた施主様をはじめ、地域にお住まいの方など、ご縁をいただいた皆様に配布致しております。諸事情により配布不要となった際は大変お手数ですが、その旨ご連絡下さい。(ウィンズ広報誌係)



住宅のメンテナンスや補修等のご相談は、お気軽にスタッフへお声掛け下さい!

0120-229-512 ウィンズ 池原建設 検索

読谷村想い合い手作りマスク1000人プロジェクト

読谷村在住の中村喜美枝さん親子から、300枚の手作りマスクの寄贈を受けたことを機にスタートしたプロジェクト。有志の皆さんから届いた手作り・市販マスクを、読谷村内で必要とする方や施設へ提供します。



受付先: 読谷村役場 1階 福祉課 tel. 098-982-9209

明けましておめでとうございます!

2021(令和3)年も池原建設と本誌「フレッシュ! ウィンズ」をよろしく願いいたします。一年遅れの東京五輪イヤー。類を見ない混乱続きだった20年の経験を糧に、希望を持って一歩先へ進みましょう。鬼餅寒(ムーチー)は1月20日です。



Smile Vision!

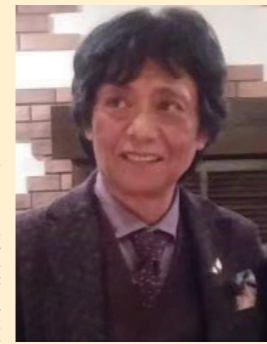
2021年お正月特集
2021年はチーム力を結集してよりMiracleな一年に
継承と創造。次代の池原建設に向けた胎動が始まる



池原建設が進める中期事業計画「Miracle(ミラクル)」の参加メンバー。昨年9月に新たに2人が加わり、各部署を代表する計7人の布陣で会社の未来を創造していきます

私たち池原建設では現在、2019年から3年間の中期事業計画「Miracle(ミラクル)」を進めています。会社の将来を担う5人の社員を軸に、さまざまな改革とチャレンジを続けてきましたが、20年9月に始まった「リーダー育成塾」を機に新メンバー2人を追加。チームとしてより厚みを増した7人全員が会議室に集い、激動続いだった一年間を振り返るとともに、「Miracle」総仕上げの年となる21年に向けた決意を語りました。

ミラクル計画を最高の形で仕上げ、事業継承の準備に臨む

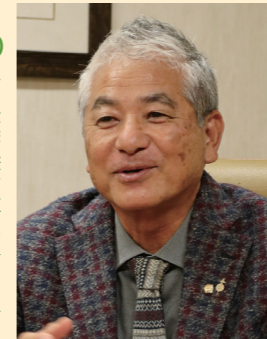


代表・池原多加氏

2022年中の事業継承を目標に、中期事業計画を立てて社内改革に着手したのが16

年。最初の3年間「サンライズ」計画ではこれまでの仕事のあり方を原点から見直し、女性社員を中心にまとまりを深めながら、今の時代により適した体制づくりを進めました。これが予想以上に順調に運んだため、次の3年間は「どんな改革の成果が現れるのか、皆で楽しみながら享受しよう」との期待を込めて事業計画を「Miracle」と名付け、各セクションから5人のリーダー候補を抜選して、会社の運営をほぼ全面的に委ねてきました。

社員が気持ちよく働ける仕組みづくりに尽力



常務・仲村勝志

20年は感染症対策に追われた一年でした。従来の受注活動に種々の制約が生じるなか、オンライン会議をはじめ時代に即した事業スタイルを導入。今後も積極的に活用し、業務の時短・効率化につなげていきます。

今だからこそお客様に歩み寄る姿勢を



フロント・屋良美樹

私が担当するフロントは会社の顔。対面時にマスクをしたり、物理的に距離を置いたり、接客面でも行動変容が求められる昨今ですが、だからこそお客様に歩み寄る姿勢をいかに示せるかが重要だと考えています。ミラクルの他のメンバーとも力を合わせて、お客様から愛される会社にしていきたいと思います。

当たり前前の連続が大きな成果を生む



建設事業部・真栄喜憲

「当たり前前のことを当たり前にする」ことの大切さを、20年は改めて実感しました。仕事がスムーズに運べば現場の美化にもつながり、お客様は喜び喜びも増える。そんな日々の積み重ねが、私たち現場代理人にとっての営業活動だと認識し、「リーダー育成塾」での学びと併せて営業力を磨いていきたいと思っています。

若手を育成するというのが大切な実感



施工事業部・照屋悟

昨日より今日、前回より今回、少しでも改善がみられることをいつも目標にしています。最近私の目を離れたところでも、スタッフが協力し合って業務が円滑に回るようになり、理想的な仕事体制が整いつつあります。入社したての若手大工の育成も順調。私たちベテラン陣にとってもいい刺激になっています。

どんな場面でも関わる人すべてに喜びを届ける



総務・雨瀬美和

さまざまな大きさ喜びが20年は二つ。毎年恒例の大イベントに代わって、総務主催で「大工の日」に開いた



組織のあり方について学ぶ研修も非接触のオンラインで。パソコン画面を通して、講師からレクチャーを受けました

社員の成長なくして会社の成長なし



CS・長浜円

20年は個人的に大きな変化のあった年。これまで務めた営業職から総務・積算のポジションに移り、仲村常務が受け持っていた仕事を少しずつ引き継いでいます。「リーダー育成塾」には今の新しい立場で参加していますが、その中で最も印象に残っているのが「社員の成長なくして会社の成長なし」という言葉。意識を変えるだけではなく行動に移し、会社の成長へとつなげていきます。

20年は個人的に大きな変化のあった年。これまで務めた営業職から総務・積算のポジションに移り、仲村常務が受け持っていた仕事を少しずつ引き継いでいます。「リーダー育成塾」には今の新しい立場で参加していますが、その中で最も印象に残っているのが「社員の成長なくして会社の成長なし」という言葉。意識を変えるだけではなく行動に移し、会社の成長へとつなげていきます。



2020年唯一のイベントとなったパークゴルフ大会。気持ちのふさがちな時期に皆で屋外で体を動かし、親睦を深めました



建設事業部・数田哲之

どの現場でも常に目の前の仕事に集中し、いつも通りに頑張っている。いつも通りに納めるのが今までの仕事の流儀。逆にいえば目標らしい目標を立てたことはなかった

